

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

歩くことは、先人によって築かれたまちなみ、歴史や文化、自然など世界に誇れる財産を再発見、再認識するとともに、自然環境の保全、地域の活性化、観光振興、郷土学習、健康づくりに寄与することができます。

札幌において歩くことの楽しみを広め、新たな交流を生むことを実現するため、健康・環境・観光・交流・景観をテーマとした周遊歩道「さっぽろラウンドウォーク」を設定、普及、発展させ、歩く文化を醸成していくことを目的として NPO 法人を設立いたします。

2 申請に至るまでの経緯

北海道大学観光学高等研究センター、札幌市経済観光局、エコ・ネットワークは、産学官連携の協同事業として 2019 年 4 月から、札幌市における産学官連携による歩く滞在交流型観光の実装化に関する研究会を立ち上げました。研究会の目的は札幌の市街地を囲むように回る「歩くルート」を設定することにより、新たな滞在交流型観光が実現できないか調査研究を行うことでした。

当初は札幌における新たな観光素材として、周遊ルートを設置普及することで観光客の滞在日数を延ばし、観光客の消費額の向上などの経済効果も期待できると検討してきました。調査研究を進める中で、このルートを設定することにより、来訪者だけでなく札幌市と近隣地域の住民にもルートを活用してもらうことで、来訪者と市民の新たな交流の拠点としての可能性を見いだしました。そのため住民や来訪者が共に札幌の緑豊かな環境を体感し、歴史的な建築物や文化芸術を再発見できるようにルート設定を考慮いたしました。このルートは観光素材としての価値のみならず、「歩くこと」そのものが文化として成熟されていく可能性を見出したところです。

以上により、歩くことは、健康増進は勿論のこと、周辺地域の歴史文化の再発見を促し、緑豊かな札幌のイメージアップにもつながることがわかりました。今日まで本研究会で活動してまいりましたが、今後は法人格を持つ団体になることによって、社会的な信用力を得て、安定的な収益基盤を整備し、持続的活動が可能な組織を作りたいと考えるに至りました。市民参加を呼びかけ、活動に協力いただく会員を増やし、行政・企業とも手を携えて活動を展開するためには特定非営利活動法人が適していると考えました。本研究会の有志が核となり、周遊ルート「さっぽろラウンドウォーク」の設定、普及、発展を担う NPO 法人を立ち上げ構想の実現に向けて NPO 法人設立の申請をし、具体的な活動を開始することとします。

令和 2 年 9 月 18 日